

台湾での自己軟骨細胞シート治療成績報告に関するお知らせ

2020年12月5日、台湾のHealthcare Expo TaiwanにてMetaTech(AP) Inc. (以下「メタテック社」)と義大医療財団法人義大病院(台湾 高雄市、以下「義大病院」)主催の自己軟骨細胞シート治療成績報告会が開催されましたのでお知らせいたします。

当社は2017年4月に台湾メタテック社に食道再生上皮シートと軟骨再生シートを導出する契約を締結いたしました。台湾では2018年9月に法律が改正、日本の先進医療と同様の制度が導入されました。これを受けて台湾の高雄市にある義大病院が自己軟骨細胞シートを用いた治療計画を申請、2020年より治療が開始されております。

新型コロナウイルス感染症対策のため、報告会当日は日本からオンライン参加で当社代表取締役社長である橋本せつ子が祝辞を述べ、この治療法の開発者である東海大学 佐藤正人教授がお祝いの挨拶とともに自己軟骨細胞シートの治療法の特徴を説明しました。続いて衛生福利部次長(台湾の厚労省副大臣にあたる)の石崇良氏が来賓挨拶を行い、義大病院 杜院長がこの1年の治療成績を発表、これまでに10人を超える患者へ移植手術を実施したことが報告されました。杜院長は報告の中で細胞シートの技術は膝関節軟骨を「繊維軟骨」ではなく「硝子軟骨」で再生するので、患者の治療満足度が100%であることも本技術の高さを裏付けている、と報告されました。さらに義大病院で手術を受けた3人の患者様も登壇されました。

日本発の細胞シート工学が、海を越え台湾においても患者様への治療として始まりました。当社としては、さらに本提携先との連携を強化し、世界の変形性膝関節症の治療に、細胞シート工学技術により貢献できるよう努めてまいります。